

令和2年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼B&G海洋センター			検証日	令和3年7月13日	
	所管課担当名	生涯学習課 勝沼中央公民館担当		課長名	辻 学	作成者名	岡 正秀
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 清水 正倫				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	平成30年(2018年)4月 ~ 令和3年(2021年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民・市民以外	施設管理体制	3名	開館日時間等	・6月2日(火)~7月11日(土)、8月8日(土)~8月16日(日):午後2時~5時 ・7月12日(日)~8月7日(金)、8月18日(火)~8月30日(日):午前10時~午後1時、午後2時~5時 ・9月1日(火)~9月27日(日)【土・日・祝日のみ開館】:午後2時~5時 ※休館日:営業期間中は毎週月曜日 10月1日~翌年5月31日
		サービス提供の内容					
事業概要	指定管理業務	(1)海洋センターの利用の許可に関すること (2)海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3)海洋センターの利用に係る料金に関すること (4)海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
	自主事業	(1)水泳教室 (2)子供スポーツ教室 (3)水辺の安全教室、防災教室 (4)わくわくカヌー体験会 (5)クリーン活動					

DO	管理運営コスト推移(千円)	平成30年度(指定期間1年目)	令和元年度(指定期間2年目)	令和2年度(指定期間3年目)		
	予算	指定管理料	5,950	5,900	5,850	
		施設利用料金収入	85	65	70	
		自主事業収入	200	220	150	
		物品販売収入	10	10	70	
		その他収入	25	25	30	
	管理運営経費	6,270	6,220	6,170		
	決算	指定管理料	5,950	5,900	5,850	
		施設利用料金収入	62	59	64	
		自主事業収入	218	81	105	
物品販売収入		3	92	3		
その他収入		0	0	100		
管理運営経費	5,834	6,118	5,789			
収支	399	14	333			
施設の稼働状況	平成30年度(指定期間1年目)	令和元年度(指定期間2年目)	令和2年度(指定期間3年目)			
指標	利用者数(人)	4,611	5,198	3,543		
	自主事業利用者数(人)	467	240	213		
活動結果	・令和2年度事業計画に基づき効率的な運営を行った結果、支出の削減に努めている。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者を地域制限しての営業を行ったため利用者数は減少したが、通算利益は黒字となった。					

CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	3	・協定書のとおり適切に管理運営が行われているが、市への報告書類等が遅れることがある。 ・施設内外での利用者等の安全を第一に考え、事故、怪我等なく営業することができている。 ・自主事業は、参加者が定員数をクリアしていないので改善が必要である。
	(2)施設の維持管理	3	・施設内の設備等については定期的に巡回、点検等を実施するなかで、適正な維持管理に努めている。 ・プール内の水質管理、室温管理、施設外の景観管理等について日常的に点検を実施している。
	(3)収入支出	3	・支出計画に対し、利用者に影響や不便が生じない範囲で消耗品費及び委託料等を削減し、支出額の縮減に努めている。
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)	
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	・協定書及び事業計画書のとおり運営が適正に実施されており、利用者等の安全面についても事故防止に努め、また施設内外の維持管理も定期的に点検が行なわれている。	

ACTION	評価結果に対する今後の対応		
	当面の課題	・昨年度に比べ、利用者人数は減少しているが、自主事業収入が増加しているため更に多くの利用者獲得が必要である。 ・6月から9月までの運営のなかで、いかに利用者の増加を図ることができるのか課題である。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じた対応が必要である。 ・ロッカーの故障箇所について、修繕が必要である。	
課題解決への対応	・自主事業については、新しい事業を取り入れる中で強化し、募集定員に達しない事業等を見直し、更なる集客を図る。 ・魅力のある水泳教室や各種教室などの企画を他市町村の同施設を参考にしながら、指定管理者と連携していくなかで利用者の増加を図りたい。 ・今後の運営と営業における制限や要請においては、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて協議の上決定し、更なる効率的な運営に努める。 ・ロッカーの修繕については見積書を徴取し、指定管理者と協議の上実施する。		

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されており、適正な人員配置や施設管理が行われ、事故防止がされている。
- ・毎年、6月から9月までの季節的な営業であり、コロナ禍ではあったが、ほぼ例年通りの運営ができている。利用者は前年度から1500人程度減っているが、コロナの影響により勝沼中学校がプールの授業を行わなかったことによる減少で、中学校の授業分は収支に影響がなかったため、収支も例年並みで終わることができている。引き続き、適切な運営を行っていただきたい。
- ・利用者へのアンケートを実施し、利用者の意見への対応など、サービスの向上に努めている。